

Investor's Report

2023年3月期

[2022年4月1日～2023年3月31日]



それじつは、
シンメイワ。

日々の営みの中にある幸せを守りつつ
大切に未来へとつないでいくために
社会をより安全、便利、スムーズに変えていく。
それがわたしたちの仕事です。
日本で、そして世界のどこかで
そこに住む人々の暮らしを
さりげなく支えている。
それじつは、シンメイワ。
わたしたちは、新明和グループです。

Contents

トップメッセージ/ 連結業績ダイジェスト	1
主要セグメント情報	3
海外グループ会社紹介	5
ESG活動報告	6
企業情報・株式に関する情報	7

トップメッセージ



皆様の、
安心な社会と快適な暮らしの支えとなる
企業グループを目指して

— 中期経営計画[SG-2023]仕上げの年を迎えて —

代表取締役社長 五十川龍之

いつも当社グループをご支援いただきまして誠にありがとうございます。取締役社長の五十川です。

2017年に社長に就任し、この4月で丸6年経ちました。就任後、当社グループの事業特性に鑑みて、長期目線の「軸」を持ち、それを拠り所として経営することの必要性を痛感し、制定したのが「経営理念」です。同時に、今後劇的に変化するであろう未来を「2030年」で一旦区切り、そこを目指す企業像を「長期ビジョン」として掲げました。この「長期ビジョン」を具現化していくファーストステップが、現在取り組んでおります3カ年の中期経営計画[SG-2023]（以後、[SG-2023]）です。

2023年3月期を振り返って

[SG-2023]の活動期間はコロナ禍と重なってしまいましたが、社会インフラにかかわる事業を複数扱っていることが奏功し、2023年3月期の受注高は、連結ベースで過去最高水準と

なりました。しかしながら、特装車を中心に、原材料価格の高騰等により、営業利益は前年度実績を下回りました。生産効率を改善し、お客様にも値上げを受け入れていただきましたが、従来の収益性を取り戻し、さらに超えていくには、既存事業の裾野を広げる活動と並行して、社会インフラの高度化に寄与する新規事業の創出が命題であると認識しております。

2023年3月期は、こうした取り組みについて、事業活動とESGの視点を織り交ぜ、「統合報告書2022」として報告いたしました。本誌は、株主の皆様をはじめとするステークホルダーに当社グループの状況を多角的にお示するとともに、自らについて、何が強みで、何が課題なのかを省みる機会ともなりました。本誌の6ページでは、統合報告書の「社会」の項で紹介している当社特例子会社に関する情報を掲載しておりますので、併せてご高覧ください。

連結業績ダイジェスト

ここが POINT /

売上高

「特装車」「その他」セグメント以外はすべて増収となり、過去2番目の売上高となった。

利益

鋼材をはじめとする原材料費の上昇等が影響し、営業利益、経常利益は減益となった。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益の増加と特別損失の減少、税金費用の減少により増益に。



2024年3月期

270,000 百万円
前期比 19.9% ↑

12,000 百万円
前期比 29.1% ↑

経営理念

新明和グループは、たゆまぬ技術革新で、
安心な社会と快適な暮らしを支え続け、
人々の幸せに貢献します。

長期ビジョン

グローバルな社会ニーズに応え、
都市・輸送・環境インフラの高度化に貢献する
価値共創カンパニーを目指します。

2024年3月期の取り組みについて

[SG-2023]は、2023年度が最終年度となります。業績予想で
お示したとおり、売上高については目標値を上回るものの、営業
利益は未達となる見込みです。

主要事業の市場環境は、おしなべて前年度と同等、もしくは
回復が期待できる見通しです。特装車セグメントは、値上げ効果
が顕在化する時期を迎えるものの、主要な調達の回復に時間を
要しております。一方、パーキングシステムセグメントの電気部品
等の調達量不足は今期中に解消され、収益貢献の柱であるメン
テナンスや改修工事が徐々に復調する見込みです。また、産機・
環境システム、流体の両セグメント*は、近年M&Aでグループ化
した韓国企業2社の貢献が著しく、既存事業も好調なことから、
[SG-2023]の目標値を大幅に上回る進捗となっております。加え
て、コロナ禍で苦戦を強いられた航空機セグメントは、ボーイング
社向け部品製造が段階的に回復する見込みです。

当社では、運営体制を強化するべく、この4月から、取締役、執行
役員に対して個々に経営上の重要テーマ（新事業の創出、グロー
バル化・DXの促進、人的資本経営の推進など）の担当を任命して
おります。「新事業創出」に関しては、私の肝入りで、2022年4月に先
行して常務執行役員を長とする「新事業戦略本部」を設けました。
この組織は、既存事業に縛られず、未来予測とメガトレンド分析に
基づいて、「長期ビジョン」で掲げる姿につながるテーマの具体化
に取り組んでおります。日々の活動と並行して、グループ会社を含む
従業員からも柔軟な発想のビジネスアイデアを募り、事業化に

つなげる活動に取り組んでおり、各々の結実を目指しております。

こうした収益拡大活動には、揺るぎのない基盤の存在が欠かせ
ません。企業体質を強め、持続的成長を確かなものとするうえで、
個々の従業員のスキルアップが益々重要となっております。最近
では、階層教育に加え、DX（デジタルトランスフォーメーション）や
D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）など、これまで個人
に依存しがちであったテーマに会社をあげて向き合い、理解と
行動を伴った人材に育てていくことが、当社グループの基礎
体力の強化に結び付くと考えております。今後も、年代を限定
せず、さまざまな教育・実践の場を通じて、社会の要求や変化に
適応する人材育成に取り組んでまいります。

結びにかえて

こうした諸活動の目的は、企業グループとしてのさらなる成長と、
社会での存在価値を高めることに帰結するものです。当社に投資
してくださる株主の皆様には、企業価値の証である株価を高め、
相応の配当を実施させていただくことで、ご期待に応える所存です。
そのためにも、まず、我々が自社のブランドが有する価値を正しく
理解し、それをさらに高めていく言動を通じて、多くの皆様に当社
グループを認知・応援していただけるよう心掛けてまいります。

株主の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症が
ようやく5類に移行しましたが、引き続きご自愛のうえお過ごし
いただきますよう、そして、今後とも当社グループをご支援たまわ
りますようよろしくお願い申し上げます。

*「流体セグメント」は、2023年3月期(1Q)に「産機・環境システムセグメント」から独立いたしました。

経常利益

9,902 百万円

前期比 16.2%減 ↓



通期業績予想

11,700 百万円
前期比 18.2% ↑

親会社株主に帰属する当期純利益

7,313 百万円

前期比 5.9%増 ↑



7,300 百万円
前期比 0.2% ↓

1株当たり
当期純利益

2023年3月期

実績

111円00銭

2024年3月期

予想

110円75銭

2024年3月期業績予想・指標

(中期経営計画[SG-2023]最終年度)

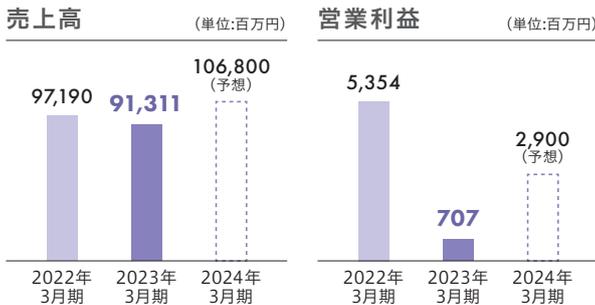
売上高	2,700 億円
営業利益	120 億円
海外売上高	600 億円
ROE	7.2%
ROIC	5.2%
配当性向	40~50%

為替前提:1ドル=130円

主要セグメント情報

特装車

- ▶ 主要部材の調達難により減収に。
- ▶ 減収、および鋼材価格の上昇が影響し減益に。



当期の結果、2024年3月期の見通し

- 受注高は高水準を維持しましたが、車台の調達難が影響し、売上高は前期を下回りました。
- 減収、主要材料である鋼材価格の高騰が影響し、営業利益も大幅減益となりました。
- 2024年3月期は、1年を越す受注残高の売上計上、2度にわたって実施した価格改定効果の顕在化等により、増収増益を見込んでおります。

TOPICS

AI技術を活用した大型ダンプ用積載量計を発売

特装車事業部では、大型ダンプ用オプション装置として、AI技術を活用した高精度積載量計を開発し、2023年2月から販売を開始しました。

■ 特長

- (1) 車外でリアルタイムに積載量を把握
荷台の上部に視認性の良い外部表示器を設置。積み込み作業の効率がアップします。
- (2) 運転室内には、多彩な表示が可能な表示器を搭載
運転席の表示器には、積載量の他に、ダンプ角・車両傾斜角の表示や、過積載・横転に関する警告情報が表示され、安全運転をサポートします。
- (3) 高精度な計量をAI技術による補正により実現
独自のAI技術により蓄積された車両姿勢の補正データを用いることで、これまでの自重計に比べ高精度な計量を可能としました。



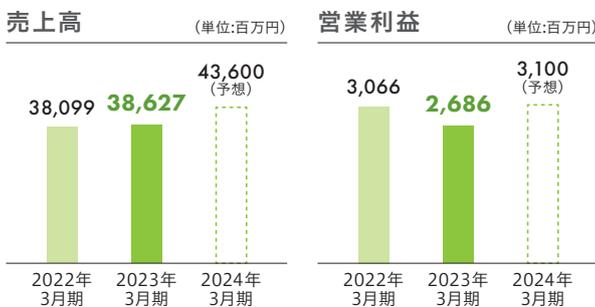
荷台上部に外付けする表示器



運転室内に設置する表示器

パーキングシステム

- ▶ 機械式駐車設備: 売上は横ばい、利益は減益に。
- ▶ 航空旅客搭乗橋: 増収増益に。



当期の結果、2024年3月期の見通し

- 機械式駐車設備は、受注は好調だったものの、電気部品の調達遅れが改修工事等の減収を招き、減益となりました。
- 航空旅客搭乗橋は、既受注案件の進捗により国内・海外ともに増収に転じ、増益となりました。
- 2024年3月期は、部品の充足や市場の回復に伴い、増収増益を見込んでおります。

TOPICS

「新明和パーキングサポートアプリ(操作支援ツール)『Spasa』を開発



パーキングシステム事業部では、エレベータ方式駐車設備「エレパーク®」の操作支援ツール「新明和パーキングサポートアプリ『Spasa (スパサ)』」を開発し、2022年10月から販売を開始しました。『Spasa』は、IoTを活用した、マンション、オフィスビル等の機械式駐車設備の機能の充実と、同設備を利用される方々の利便性・安全性を高めるオプションツールで、以下のような課題を解決に導きます。

【課題1】入庫する前に一旦降車して操作しなければならない装置前に車を停車すると、カメラで撮影したナンバープレート画像をAIが判断し、事前登録したナンバープレート情報と照合して対象のパレットを自動で呼び出します。

【課題2】EVの普及が進まない

1台分の受電容量で複数台(4~5台)の充電を可能にする輪番充電システム(少受電多大数充電)を開発しました。充電予約や、課金を想定した月単位の充電状況等をアプリで確認できるなど、EVの利用を後押しする機能も備えています。



「入庫可否判定」入力画面 判定結果画面

産機・環境システム

- ▶メカトロニクス製品は、韓国真空(株)が大幅に伸長し、自動電線処理機も堅調。
- ▶環境関連事業は、プラント案件が引き続き好調。



売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



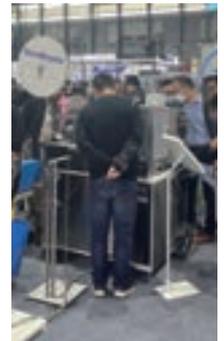
当期の結果、2024年3月期の見通し

- メカトロニクス製品は、EV市場の成長に伴い、二次電池関連生産ラインの一部を構成する真空乾燥装置が大幅に伸長しました。
- 環境関連事業は、前期までに受注したプラント工事が進捗しました。
- 2024年3月期は、堅調な市場環境に加え、環境関連事業ではストック事業(運営管理等)も増加する見込みです。

TOPICS

「PRODUCTRONICA CHINA 2023」に出展

2023年4月13日(木)～15日(土)、上海新国際博覧中心で掲題展示会が開催され、産機システム事業部と中国の現地法人2社が合同で、新型の両端端子打機「TRD602」、新たに開発した片端ハンダ片端シール端子打機「THR602WPSA」、ハイエンド(高性能)モデルの両端シール端子打機「TRD701WPB」の3製品を出展しました。本展示会は中国のワイヤーハーネス業界において最大規模の催しで、昨年はロックダウンで中止となりましたが、今年は多数のメーカーが出展しました。会場のほぼ中心に位置した当社ブースには連日多くのお客様が来訪され、実機を用いた実演では、加工した電線の仕上がりや機械の動きを真剣に確認されていました。



新製品を用いた実演

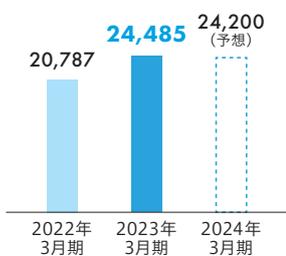
流体

- ▶当期から、産機・環境セグメントから独立し、単独セグメントに。
- ▶国内の官需・民需、海外向け、いずれの市場も堅調。



売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



当期の結果、2024年3月期の見通し

- 官需は、基盤の下水処理関連製品に加え、豪雨・浸水対策分野も伸長しました。
- 民需では、省エネに適用したTurboMAX Co.,Ltd.の主力製品が国内外で堅調でした。
- 2024年3月期は、市場環境に大きな変化はないものの、原材料価格の上昇などを想定し、好調であった前期に対して若干の減収減益を見込んでおります。

TOPICS

小野工場に大型水中ポンプ運転検査設備を新設

流体事業部では、小野工場(兵庫県小野市)の敷地内に、8億5千万円を投じて、2024年6月からの運用開始を目標に、大型水中ポンプ(口径1,200mmまで)運転検査用の水槽を新設します。近年、局地的豪雨や台風など、気候変動に起因する大規模災害が頻発しており、国・自治体による水害対策の一環として、当社が扱う浸水対策用途の雨水排水用大型水中ポンプの需要も高まっています。本検査設備は、こうした雨水排水分野向け製品のラインアップ拡充の一環で新設するもので、浸水対策に資する高品質な製品を通じて社会に貢献します。



雨水排水用大型水中ポンプ

航空機

- ▶ 増収、原価低減、円安効果により3期ぶりに黒字転換。
- ▶ 民需関連の生産量回復は道半ば。



当期の結果、2024年3月期の見通し

- 前期にグループ化した天龍エアロコンポーネント(株)の寄与、円安効果が奏功し、増収増益となりました。
- 2024年3月期は、コロナ禍で低迷していた民需関連の生産ペースの回復、防衛省関連ではUS-2型救難飛行艇 9号機の製造進捗に伴い増収増益を見込んでおります。(想定為替レート:1ドル=130円)

TOPICS

三菱ガス化学株式会社と共同で、富士デザイン株式会社に出資

このたび、当社と三菱ガス化学株式会社は、富士デザイン株式会社(本社:兵庫県小野市、以下「富士デザイン」)に対して共同出資を行いました。当社 航空機事業部は、2020年から富士加飾株式会社(本社:兵庫県小野市、以下「富士加飾」)と共同で、炭素繊維強化プラスチック(以下、CFRP※)のリサイクルに関する研究を行っています。

CFRPは、軽量で高強度な特性を持ち、航空機部品やスポーツ用品の材料として広く採用される一方で、リサイクルが困難で、製造時に大量の二酸化炭素を排出するという環境面の課題を抱えています。今般出資した富士デザインは、富士加飾が、リサイクル炭素繊維の生産拡大のため事業を分離して設立した法人です。

当社では、CFRPリサイクルビジネスへの本格参画と富士加飾とのさらなる関係強化を図るべく、今般の出資を行いました。これにより、再生素材を用いた環境配慮型高機能製品の商品化を目指します。

※CFRP=Carbon Fiber Reinforced Plastic



従来工法による再生CFRP



富士加飾の技術で再生したCFRP(繊維が整った状態)

海外グループ会社紹介 01

グローバル化の加速も当社グループの重要テーマです。ここでは、現地法人の概要を紹介します。

Thai ShinMaywa Co., Ltd.

(タイ国 サムサコン県) *以下「タイ新明和」と表記

タイ新明和は、1988年設立の、当社グループにとって最初の海外法人です。2023年に設立35年を迎える老舗の法人でもあります。

当初同社は、特装車の製造に欠かせない機能部品を高品質・低コストで製造し、日本の生産拠点に供給することで、特装車事業部の安定生産をサポートする役割を担っていました。

その後、タイ国内でも機能部品の需要が高まったことから、同国内での販売にも力を注ぎ、近年は設備を増強して近隣諸国への輸出も増やしています。

一方、水中ポンプなどを扱う流体事業部にとっても東南アジアは重要な市場の一つで、販売量の増加に伴い、タイ新明和内に新工場を建設し、2020年から設備用水中ポンプの製造を始めました。新型コロナウイルス感染拡大と立ち上げ時期が重なってしまったため事業計画に対して少し遅れが生じていますが、現在キャッチアップに努めているところです。

このように、多様な事業を有する当社グループにおいて、一つの拠点で複数の事業を行う実績はまだ少ないことから、タイ新明和の業容拡大が、グループ内の「共創」を促すきっかけになると期待しています。



タイ新明和の概要

従業員数	132名
敷地面積	49,533.06㎡
資本金	1,080百万バーツ
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 特装車の機能部品(シリンダーなど)の製造・販売 ● 設備用水中ポンプの製造・販売

特例子会社
新明和ハートフル株式会社について

2022年に発行した「統合報告書」の中から、株主の皆様にご覧いただきたいコンテンツをピックアップし、追加情報とあわせてご紹介します。今回は、「社会」の欄に掲載した特例子会社、「新明和ハートフル株式会社（以下、新明和ハートフル）」を取り上げます。



甲南事務所



宝塚事務所

「特例子会社」とは、障がい者の雇用促進と安定のため、雇用にあたって特別な配慮をする子会社を指し、新明和ハートフルはこれに該当します。ここで働く障がいを持った従業員は、一般企業で働くよりも、合理的とみなされる範囲で配慮を受けつつ勤務しています。

2015年の設立時に従業員5名、指導員2名でスタートした同社は、設立9年目を迎え、従業員27名、管理者・指導員12名と大きく成長しました。

主な業務は書類の電子化（紙・写真フィルム等を、複合機を使って電子化し、保存する業務）で、2023年4月時点の累計処理枚数は約1,400万枚となり、これらを積み重ねると桜島（鹿児島県）を超える高さになります。

最近では、近隣の大学から電子化の依頼をいただくなど、グループ外にも対象を広げています。また、新明和グループの名刺や教育冊子などの印刷物も制作しています。

ここまでの内容から運営状況は順調に見えますが、「特例子会社」のもう一つの役割として、同社は新明和グループの障がい者雇用率の充足を担う立場にあり、政府が2024年、2026年と2段階で計画している障がい者雇用率の上昇に対応するには、

- 作業量（受注）の確保
 - 従業員の障がい特性を理解した指導員の雇用・配置
 - 作業環境の整備
- などが課題となります。

新明和グループの特例子会社として、そして、障がいを持った従業員が安心して活躍できる場を提供するためにも、同社の経営基盤強化に取り組むことが、「ESG」における「S」の実践につながると考えます。



印刷物の検査を行う従業員



新明和ハートフルが制作したフォトブック

新明和ハートフルの概要（2023年4月1日現在）

従業員数	39名 （うち、管理者・指導員は12名）
資本金	2,000万円（新明和工業（株）、新明和商事（株）による共同出資）
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 書類の電子化業務 ● 新明和グループからの委託業務（簡易印刷、データ入力代行、郵便物の仕分け・配達、清掃など）

企業情報・株式に関する情報

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 新明和工業株式会社
設立年月日 1949年11月5日
資本金 15,981,967,991円
従業員数 3,136名
連結従業員数 6,040名

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 70,000,000株
単元株式数 100株
株主数 25,149名

株主構成



()内の数値は株式数の比率。四捨五入した数値を表示しております。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,584,400	13.02
三信株式会社	7,385,065	11.20
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,105,200	6.22
新明和グループ従業員持株会	3,049,072	4.62
住友不動産株式会社	1,837,800	2.78
東洋ビルメンテナンス株式会社	1,391,300	2.11
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	924,400	1.40
新明和グループ取引先持株会	811,286	1.23
BNP PARIBAS LUXEMBOURG / 2S/JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND	798,100	1.21
JP MORGAN CHASE BANK 385781	732,217	1.11

(注) 持株比率は、自己株式数(4,087,841株)を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

役員 (2023年6月27日現在) 「※1」は社外取締役、「※2」は社外監査役を示しております。

役職名	氏名	役職名	氏名
代表取締役 取締役社長	五十川 龍之	常務執行役員	中野 恭介
取締役 副社長執行役員	石丸 寛二	常務執行役員	田中 克夫
取締役 専務執行役員	西岡 彰	常務執行役員	小田 浩一郎
取締役 常務執行役員	久米 俊樹	常務執行役員	田村 功一
取締役 常務執行役員	榎原 敬士	常務執行役員	新居 聡
取締役 役	苅田 祥史 ※1	執行役員	深井 浩司
取締役 役	長井 聖子 ※1	執行役員	富田 政行
取締役 役	梅原 俊志 ※1	執行役員	長尾 嘉宏
監査役	西田 幸司	執行役員	中瀬 雅嗣
監査役	島坂 忠宏	執行役員	樫本 崇
監査役	金田 友三郎 ※2	執行役員	石原 秀朝
監査役	杵山 栄理 ※2	執行役員	小西 宏明
監査役	木村 文彦 ※2	執行役員	難波 政浩
		執行役員	難波 一郎
		執行役員	望田 秀之

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日

配当金
・2023年3月期1株当たり年間配当金:45円 (うち、中間配当金:21円、配当性向40.5%)
・2024年3月期1株当たり年間配当金(予想):45円 (配当性向40.6%)

定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人/特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

各種手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの方
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下のお手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。
● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
● 支払期間経過後の配当金に関するご照会
● 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

特別口座に口座をお持ちの方
下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

株主名簿管理人/特別口座管理機関
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 (通話料無料)

株主の皆様の「声」をお聞かせください

当社では、「株主通信」を発行するタイミングにあわせて、アンケートを実施しております。右の二次元コードからアンケートフォームにアクセスいただき、当社に対するご意見や「株主通信」をお読みになった感想などお聞かせください。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



アンケートは2023年8月31日までご回答いただけます。ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)をお送りいたします。

表紙について

今回も、漫画家 今日マチ子さんのイラストで飾りました。未来ある高校生が語る社会のあちらこちらで、「じつは」当社グループの製品が使われていること、社会インフラの重要なポジションを当社グループが担っていることを若い世代にも知ってほしい、との想いを込めたビジュアルです。今日マチ子さんが描く新明和の事業は、当社ウェブサイトや大阪国際空港などでご覧いただけます。また、これらのイラストをモチーフにしたブランドムービーも公開しています。あわせてご覧ください。

ウェブサイト



Youtube

